

12月に入って急に冷え込み、師走らしくあわただしい日々を過ごしています。そんな中、月に1度楽しみにしている“お茶のおけいこ”。「明日はお茶のおけいこがあります。」と聞くと、「やったー！！」「イエーイ！！」と大騒ぎの子ども達。今回は、お運びさん、お客さんのおさらいをしました。今回、用意して下さったお菓子は、見た目もステキな“X'masのくつ下”と、なんと!! 飯田先生手作りの“ベル”を用意して下さい「おいしかった！」と大好評でした。

次回は・・・自分で作った“MY お茶碗”を使っの初釜お茶会となります！

※11月に自分でデザインし、色付けをした世界でたった一つのお茶碗が完成しましたよ！お楽しみに・・・。

12月のお干菓子



- ・X'mas くつ下
(ゼリー)
- ・ベル
(きなこで作ったお菓子)

12月のお花



- ・小菊
- ・椿

こぼさないように...
ゆっくりゆっくり。



絵を向こうに回しましょう...。
“あれ？どっちに回すのかな？”



とってもやさしく
教えてください！



飲んだところを
きれいに拭いて...



お茶碗について

茶道の道具のなかでも大切なお茶を飲むための器です。

らくやき はぎやき からつやき きょうやき
楽焼や萩焼、唐津焼、京焼など各地の焼き物があります。ぞう組さんが造っているのは奈良の
あかはだやき
赤膚焼きです。

焼きものには陶器と磁器があり、造り方で違ってきます。日常生活で食器として使われているものは磁器が多く、お抹茶茶碗としては陶器がよく使われます。温かな肌触りがします。

陶器は低い温度でゆっくりと焼かれていて壊れやすく、磁器は高い温度で焼き締められ硬く出来上がっています。ぞうさんのお茶碗は陶器で扱いを気をつけないと口が欠けたり、割れてしまったりしやすいです。大切に丁寧に物を使う大事さを学習するよい機会でもありますね。